



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

第 20 号

平成11年(1999年) 1 月

国際活動の一環としてニュースを発行されている宇治市国際親善協会を誇りに思い、その素晴らしいニュースに私たちの記事を載せていただい

ます。宇治市国際親善協会が発行されていますUIFAニュースに、国際活動の一つとして私どもの国際課が参加させていただき、大変誇りに思います。



バンドゥーラ・セネビラトネ市長

ヌワラエリヤ市

宇治市では、スリランカ・ヌワラエリヤ市、中国・咸陽市、カナダ・カムループス市との国際交流を進めています。それぞれの代表者からメッセージをいただきました。

て光栄に思います。私たちはお互いに手をつなぎ、これからも真の友情を継続しなければなりません。私たちの願いは、二十一世紀を迎えようとしている世界の地域を、一つの人類家族となるよう密接に連携することです。ささいな違いも含めて差別状況を取り除かれ、平和な世界が実現することを確認します。私のまちなヌワラエリヤは、スリランカ国



▲ヌワラエリヤ製茶工場

の中心部にあり、美しいピドゥルタラガラ峡谷に位置しています。ヌワラエリヤは、自然の森と美しいゴルフ場、お茶畑に囲まれています。ハクガラ自然公園は、偉大なラーマ・ヤナーの詩を物語っており、世界最後の自然の息吹は、観光客を魅了します。私たちは、美しいグレゴリー湖や、まちな中心部にありますクイーンビクトリア公園を誇りに思

宇治市の皆さんこんにちは

ます。宇治市民とヌワラエリヤ市民との友情は、ますます強くなっています。両市を訪問する人たちがそれぞれに二つの市を強い絆で結んでいます。その証拠として消防車や日本記念庭園などが宇治市からヌワラエリヤへ贈られています。宇治市民の皆様にとって、一九九九年が素晴らしい年でありますように。また、両市の友情が限りなく発展しますように、心からお祈り申し上げます。(翻訳 宇治市在住 ナレン ドラ ケピティボラさん)



▲ヌワラエリヤ市郊外

咸陽市

咸陽市人民政府外事弁公室主任
咸陽市人民対外友好協会常務副会長

賀 国 華



親愛なる宇治市民の皆様、
明けましておめでとうござい
ます。

新しい一九九九年を迎える
際に私は、友好都市である中
国咸陽市人民政府外事弁公室
と咸陽市人民対外友好協会を
代表して、宇治市各界の友人
の皆様へ新年のお祝いを申し
上げます。

皆様ご存じのとおり、咸陽
市は中国の中心部、即ち北緯
三十四度十九分、三十五度三
十四分、東経百七度三十九分
、百九度十一分の間に位置し
ています。面積は、一万二百
十三平方キロメートル、三つ
の区を管轄し十一県を持って
います。東二十五キロには、
陝西省の省都である西安市が
あります。

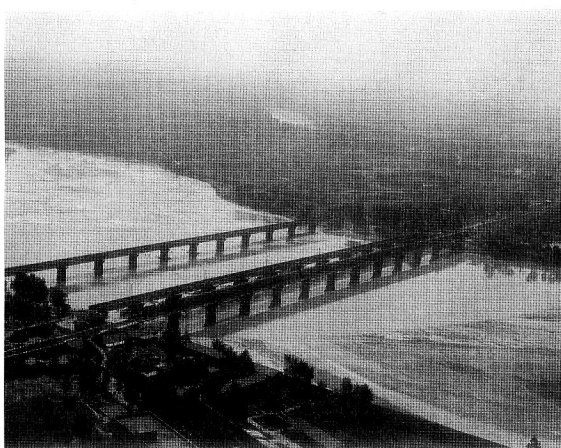
中国の文明発祥の地として、

咸陽市は紀元前十一世紀から、
周、秦、漢、隋など十一王朝
の首都でした。

歴史上初めて中国を統一し
た秦の始皇帝が封建的中央集
権国家を建設し、咸陽は当時
の政治、経済、文化の中心と
なりました。

悠久的歴史があるので名所
旧跡が数多く、漢
唐の時代の三十二
人皇帝の内二十七
人の帝王陵をこの
地に見ることがで
きます。その中で
も、唐高宗と則天
武后の合葬墓の乾
陵、唐太宗昭陵、
漢時代の茂陵およ
び楊貴妃の墓など
は文化財として有
名です。

咸陽市博物館に
は、漢時代の墓か
ら出土した三千体
余りの陶製の兵馬俑が陳列さ
れています。



▲渭河の流れ

茂陵博物館に収蔵された漢
時代の石刻芸術品などの国宝
は、たくさんのお客を引き
つけています。

咸陽は中国でも有名な歴史
・文化の観光地であり、外国
からの旅行者も年間四十万人

を越えています。

咸陽市区では、電子、紡績、
石油科学、機械製造などの経
済技術開発地区を形成してい
ます。

中国第一位の農業科学実験
地区の陽陵区は、咸陽市内に
あります。ここには、十一カ
所の農業科学大学や研究所が

咸陽市の北部地区には、豊
富な石灰資源があり、総埋蔵
量は百二十億トン以上です。

黄土高原の一部で沈積してい
る巨厚な黄土は、工業磁器材
料の無尽の宝庫となっています。

咸陽市は鉄道、高速道路を
含む道路、航空路と三方面か
らの交通網が発達、整備され
ています。

咸陽空港は国内線の他、日
本の名古屋、広島、福岡、新潟
および香港などの国際便によ
って世界とつながれています。

咸陽市と宇治市とは、友好
都市を結んでからもう十三年
になりました。

一九八五年、私は咸陽市友
好訪問団のメンバーとして
初めて宇治市にまいり
ました。一九八六年、両
市は友好都市締結の協定
書に調印しました。その
あと何回も、咸陽市の市
長とともに宇治市を訪問
してきました。宇治市か
ら毎年いろいろな訪問
団を派遣され、咸陽市と
の交流・視察をしていた
だいてきました。

双方の努力のもとで、
交流を進めることができ
ました。

両市民の間の友誼は時間の
経過に従って、日増しに深く
なっています。

一九九九年を迎えますが、
宇治市の古い友達として、私
は宇治市の友人と市民の皆様
が咸陽市に経済、文化交流と
観光旅行にきていただけるこ
とを心から歓迎します。

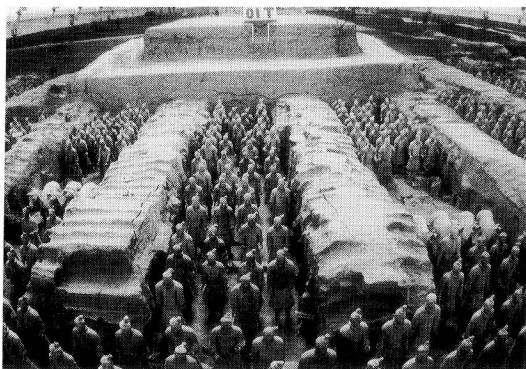
最後に、両市民の友好が末
永く発展していくことを祈
り申し上げます。

両市民がお互い手に手を取
って、平和で友好な二十一世
紀に向かって進めていくこと
ができるよう願っております。

一九九九年一月一日

(翻訳 外事弁公室

王省南 さん)



▲兵馬俑

カムループス市

Client Services Manager
キャロル・フィッツモーリス

宇治の皆様にごあいさつ申し上げます。

カムループス市と私自身を紹介する機会を与えていただきまして、感謝いたしております。

カムループス市の人口は、およそ八万人で、年間の日照時間は二千四十八時間に達し、天候は半乾燥地帯に位置しております。

カムループス市は、二本の南北トンブソン川がダウンタウンで合流し、まちはその恵まれた位置と気候条件を生かし、家族全員が年間をとおしていつでも色々な行事や活動を楽しめるよう提供いたしております。

カムループス市の主要産業は、鉱業、林業、畜産業、農業と観光業で、これに軽工業が続きます。

日本からの訪問者は、私ど

もの北米西部のライフスタイルを気に入っているようです。

私個人は、一九七八年にカムループス市に引っ越してきましたが、カムループスを好きな気持ちは当初と変わわりません。

市役所の勤務は、一九七九年二月から始まり、市役所内の種々の部署を回りましたが、今回新しい部署を仰せつかり、幸いなことにその一環として姉妹都市との渉外の責任を受け持つことになりました。

私の最初の仕事は、宇治市教育委員会に送り出す英語指導助手の選考に関することでした。

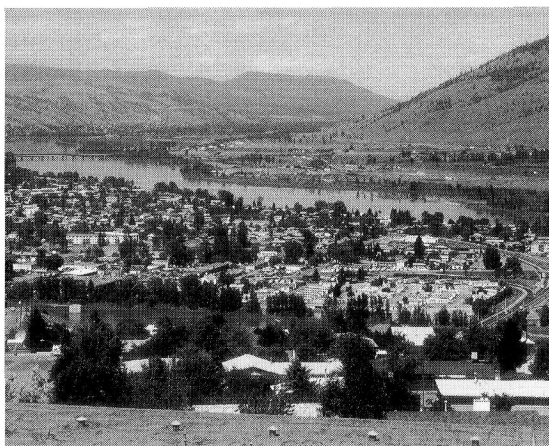
当市は、ダン・カーティスを選出しましたが、彼は貴市において評判も良くしっかり働いていると聞き及んでおります。

私の宇治市民との最初の出会いは、宇治からのサッカーチームが一九九八年五月に訪問された時で、この素晴らしい経験は忘れることがで

きません。

以来、中学生の訪問、久保田新市長を団長とする一九九八年九月の公式訪問団を迎えました。

お会いしました宇治からの全員が、素晴らしい人々で、礼儀正しく、どの訪問団も楽しく接待させていただきまし



▲カムループス市の風景

故郷を訪れることを夢見ております。

私は既婚者で、二人の兄弟と三人の姉妹の他、十三人の甥と姪がおります。

私の生まれ育った所は、アルバータ州の小さな町で、家は農家をしており、成長期に随分と苦勞をいたしました。後悔はしておりません。思うに当時の苦勞は、今日のより良い私を形成してくれたと信じております。

趣味は、ジグソーパズル、レース編み、種々の刺繍、クッキーやケーキ作りですが、親族、友人を招いてもてなすことも大好きです。

夫のデニスと私は、Sons of Norway Lodge (サンズ オブ ノルウェー ロッジ) の会員ですが、この団体は、国際的な友愛組織で困窮者のための基金収集や青少年の擁護等に加え、ノルウェーの文化、習慣を守って行こうとする組織です。

私は、とてもラッキーな人間で、昨日、来年度の公式訪問団の一員として宇治市に派遣されるといふニュース

を受けたばかりです。

というわけで、美しい宇治市とともに、もっと多くの素晴らしい日本の皆様に会えるわけです。とても楽しみにしております。

とにかく、上司のジョー・マーティナゴは、素晴らしい上司です。

それでは、お会いする日を楽しみにしております。

皆様にとり良いお年になりますよう祈念いたしております。

一九九八年十二月
(翻訳 カムループス市在住 小沢美江さん)



▶南・北トンブソン川の合流点

スピーチコンテストを

終えて

宇治国際交流クラブ

会長 山口 正章

宇治市国際親善協会、宇治市及び宇治市教育委員会の後援をいただき、また協会からは経費助成をいただいで、昨年十二月十三日(日)に国際交流フェスタ・スピーチコンテストを行いました。紙面をお借りして報告します。

本行事は、地域に住んでおられる留学生や、外国語に興味を持つ日本人に、身近に日頃の学習の成果を披露する場を提供したいと思い、交流パーティーと併せて四年前から始まりました。

今回は、留学生の部で六名(カナダ三名、中国二名、韓国一名)、日本人の部では四名と二組(中学生と小学生のグループ)の方々が発表してくださいました。

今年は例年になく高いレベルの発表内容ばかりでした。なかでも、留学生の部で優秀賞を受賞されたチョウ・ブンスン(中国)、日本人の部で優秀賞を受賞された森本裕子さん(高校生)のスピーチは、いずれもすばらしいものでした。

チョウさんは夏に茶畑で茶摘みを体験した時の感想を中心に、日本語で話してくださいました。言葉の表現が豊かで、聞いているだけで茶畑の情景が目に見えてくるようでした。日頃から、かなり本を読む等の努力をされていることが想像できる発表でした。また、森本さんはかつてニュージーランドに一年間留学しておられた体験を通じて、学校教育についての自分の意見をまとめて、英語で発表されました。

その他、日本人の部では、自分の将来の夢を語ってくれたり、「愛は何色?」と題して詩の朗読のような形式で発

表してくださった中学生のグループもありました。小学生の英語の寸劇は本当に微笑ましい内容でした。

優秀賞を受賞された方々が、結果発表を聞いて飛び上らんばかりに喜んでおられる姿を見て、事業主催者としてうれしく思いました。

このコンテストに出場されたことで、国際交流への関心をより高めていただけたならば、これ以上うれしいことはありません。これからも、宇治の地で地域に根ざした国際交流活動を会員一同微力ながら取り組んでいきたいと思いたしますので、よろしく願います。

けいかいけつ 恵懐杰写真展

十二月十八日から二十八日までの期間、市役所一階の市民ロビーで、宇治市日本中国友好協会主催「恵懐杰写真展」が開催されました。

恵懐杰氏は、写真撮影芸術の研究に打ち込み、陝西省を中心に創作活動を続けている著名な写真家です。

彼の創作した「黄河の壺・延安」は北京の人民大会堂に、「黄河の壺」は毛首席記念堂



に収蔵されています。

また、恵氏が育った陝北の歴史文化の研究にも情熱を注ぎ、現在は陝西省文化発展研究所主任、陝西省摄影芸術学会副主任でもあります。

十一月に陝西省訪問団員として京都を訪問された際に、四十七点の写真を持参、京都府日中友好協会に寄贈されました。今回展示された作品は、その中から選ばれた「天下・黄河」「陝西風光」「陝西高原風光」の三部作三十点でした。写真展を観賞された多くの市民に、彼の作品を通じて友好都市咸陽市の風光・文化を伝えることができました。

観感雑

皆様、新年あけましておめでとうございませう。

UIFA ニュースは昭和六十二年七月に発

刊され、今回で二十号になります。ヌワラエリヤ市、咸陽市との記念すべき交流の様子や、平成二年にカムループス市が友好都市に加わったことも紹介されました。多くの人々や団体が海を渡り、握手をかわし、そして別れる時には涙を流し、再会を望んでいる様子も掲載されています。

昨年、カムループス市日系人会が来宇された時、友好都市調印の際にお世話になった現地日系人立石さんと再会することができました。次回はカナダで会うことを楽しみに握手をしました。

皆さんも、友人・知人を誘って、親善協会のいろいろな行事に積極的に参加してみてください。世界(地球)がグーンと小さくなり、今まで遠いと思っていた国も近くになり、多くの友人ができると思います。

城島 健治

